

止まり場所確認

毎日投稿している / 共感はある / DMIは動く

- × 反応が弱い
- × **申込みは来ない**
- × その先で止まる
- × **自分を疑い始める**

原因の見立て

客観的な事実

全部が悪いわけではない / 才能の問題ではない

詰まりが全体を止める「構造の問題」

- 止まっているのは一点
- 流れのどこかに段差がある
- **理由が分かれば直せる**

感情ではなくシステムとして分析する

「足し算」の努力を、一度壊す

全部を直す
努力量を増やす
反応不足
商品が良い

≠ 正解
≠ 解決
≠ センス不足
≠ 売れる

止まり場所ごとに処置は変わる / 一点修正が全体を動かす

確認の軸

1. 知ってもらう段階

2. 共感される段階

3. 必要だと納得される段階

4. 動いてもらう段階

チェックポイント

今どこで止まるか？ / 投稿と飛び先は一致しているか？ / 温度と提案は一致しているか？

整うと起きること

効率の最大化

直す場所が絞れる
努力が分散しない
目的が明確になる

反応の質の転換

相談理由が生まれる
提案の通りが良くなる
良い話で終わらない

結果として「自己否定が減る」

今すぐやる一手

STEP 1: 現状の可視化

- 最新導線を一本だけ開く
- 反応が止まる地点を書く
- 読者の「今の温度」を書く

STEP 2: 照合と修正

- 投稿とリンク先的话题を照合
- ズレている一点だけ印を付ける
- 今日そこだけ直す

※目的を一語で決めてから修正する

資料の活用シーン

詰まり位置の特定ガイド

反応停止時の点検 / 導線ズレの確認
温度差ミスの確認 / 目的不一致の確認

全部直そうとした時の制動用 / 止まったら開く設計図

次の進み方

- ▶ 共感止まりなら「橋」を足す
- ▶ 納得不足なら「判断材料」を足す
- ▶ 温度差なら「提案」を遅らせる
- ▶ 目的ズレなら「発信」を揃える

自力で見えない時は外から診る / 必要な人だけ次へ進む